



川路まちづくり委員会
 ウェブサイト
 ぜひご覧ください



川路地区 文化祭



コロナ禍でも出来ることをと

展示発表：令和4年10月31日(月)から11月6日(日) 川路公民館
 芸能発表：令和4年11月6日(日) 川路小学校体育館
 にて、令和4年度 川路地区文化祭が開催されました。

文化祭を終えて

文化部長 霞 憲治

今年の文化祭は、左記4点の目的で実施しました。

①文化・芸術活動の成果発表の場を設け、更なる活動の推進を図る。

②地域のまとまりと親睦の場とする。

③事業所の地域参加と交流の場とする。

④子ども達の思い出になる文化祭とする。

実施内容としては、昨年同様、新型コロナウイルス対策として作品展示と芸能発表の会場を分けて実施しました。また、事業所と地域の交流の場として昨年同様、テイクアウト出店を募集し4団体に参加いただきました。

来場者数は、作品展示及び芸能発表共に参加団体数が昨年に比べて減少したこと、南信州地域において新型コロナウイルスの感染拡大があったことから昨年と比べて減少しました。しかし、人形劇フェスタが中止となり披露する機会が限られていた小学校3年生の人形劇を、多くの保護者や地域の方の前で発表することができ

たことは大変良かったと考えます。

また、今年は新たに文化祭期間中に子ども向けの事業として、南信州おもしろ科学工房を講師に迎えサイエンスショーを開催しました。こちらも新型コロナウイルスの感染者数増加に伴い急なキャンセルがあるなどし参加が少なくなりましたが、全ての実験に子ども達も参加でき参加者に科学の面白さを伝えることができたと考えます。

今年の文化祭もコロナ禍における事業の制限を想定した企画となりましたが、コロナ禍の中でもできることを実施しようと計画しました。文化祭に参加いただいた方、運営に協力いただいた役員に感謝申し上げます。ありがとうございました。



《裏表紙(8面)も見てね》

川路パドミントンクラブ ロブロック全地区に勝利

10月2日(日)に竜峡中学校に於いてDブロックパドミントン大会が行われました。川路パドミントンクラブは昨年準優勝に終わった悔しさを糧に今年こそはと練習に励み見事全チームに勝

りし完全優勝を成し遂げた。代表の橋本誠さんは「周りの地区のレベルも上がり、その中で優勝を目指してやってきたので、結果が出て良かった」と嬉しそうに語られました。当クラブは週2回火・木曜日の夜7時30分から竜峡中学校で練習しています。モットーは「みんな楽しく、地域関係なく」(川路地区以外でもOK、20〜70歳代の方が参加中)です。参加希望の方は福



第52回 竜峡祭
～思いやりによって咲く花～

川路地区に限りませんが、飯田市内での新型コロナウイルス感染症再拡大のため、以下の公民館事業が中止となりました。罹患された皆様並びにご家族の1日も早いご回復をお祈りします。

- 11月13日(日) 飯田市女子バレーボール大会
- 11月19日(土) 川路通学合宿代替事業
- 11月27日(日) 分館対抗ニュースポーツ大会

感染症再拡大による 公民館事業への影響

ウクライナ紛争に始まり記録的な円安・物価高に新型コロナウイルス第8波・・・目を背けたくなるニュースばかりが駆け巡った令和4年だが、それには負けず川路小学校では創立150年記念式典を無事開催する事ができた。記念にと小学生の娘に囁かし散歩に付き合ってもらった。慣れ親しんだ通学路から見た山桜の場所や格式高いお屋敷、紅葉の見事なもみじなど四季折々の美しい情景は今も変わることなく残されていた。これも川路の誇るべき魅力のひとつと感じ、たまには童心に帰ることも必要だと気付かされた。利便性を追求し近所付き合いも希薄になりがちな昨今だが、2世代に渡り同じ環境で過ごしている事はとても幸せな事であり、尊い物が沢山残されている事を再認識した。歴史ある川路を継承し、可能性あふれる次世代へ大切に繋いでいかなければいけない。さて今年も残すところあと僅か。やり残した事はさておき、頭の中では早々とおせち料理やお神酒がちらつき、こたつの呪縛からも抜け出せない例年通りの自分らしい締めくくりとなりそうである。

風土料理を 次世代へ 五平もちを 作らまい会

10月1日(土)、川路公民館にて「五平もちを作らまい会」が開かれました。昨年より動き出した五平もちの会は今回で3回目。伝統料理を継承しつつ、新しいものを作って行きたいと始まりました。



五平もちの形の由来は、神道の祭祀で捧げられる「御幣」に似せた供えものなど、いろいろな説はありますが、川路では昔からお客様へのおもてなしとしてよく食べられています。そんな風土料理を途

切れさせてはいけないうと多くの方が賛同し参加されました。事務局の清水さんは「親子3世代に参加していただき継承しつつにぎやかにやる」が究極だ！とこれからの展望を力強く語られた。私も参加してみ、昔は家族みんなで分担し、お米を半ごろしにして、竹の輪っかに形をはめ、庭で炭火の上で網焼きをしたことを懐かしく思い出しました。ぜひ参加したという方は、五平もちを作らまい事務局

断面

の清水さんまでご連絡ください。(牧内)

馴染みのくるみ味噌で美味しくいただきました

新たにお住まいの皆さんに 庭木のプレゼント

3区 白澤 聡 美

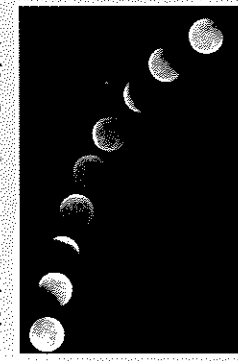


新しく家を建てたことで、ヒメシヤラの木を頂きました。数種類の中から自分の好きな庭木を選ぶことができ、庭に数本木を植えています。また一つ緑を増やすことができ、とても嬉しく感じています。私は川路で生まれ育ち、学生時代を除くほとんどを川路で過ごしてきました。ライフスタイルが変化していく中で、改めて川路を選択したのは、太陽の温かき、風の気持ち良さを感ずることのできる緑豊かな川路の地から「力」をもらうことができるからだと思

トピックス 「皆既月食 プラス 天王星食」

11月8日、皆既月食が各地で観測され、ここ川路でも見ることが出来ました。「皆既月食」中に、月の後ろに天王星が入る天王星食も見られました。日本では442年ぶりとなったきわめて珍しい天体ショーでした。次に日本で皆既

月食が見られるのは3年後の2025年の9月8日です。ただ、日本で皆既月食中に惑星食が見られるのはかなり先の322年後の2344年の土星食と予想されるということです。



川路地区文化祭の子ども向け企画 南信州おもしろ科学工房が 川路にやってきました! サイエンスショー-2022



11月3日文化の日、南信州おもしろ科学工房の皆さんを招き、サイエンスショーを川路小学校体育館で行いました。子どもたち向けに自然・科学に楽しみながら触れる機会として、文化部で企画運営し、当日は川路地区の5組12名の親子が参加し、科学実験を楽しみました。空気、水、ボール、風船、バナナ等をマイナス196℃の液体窒素に入れながら、講師が「どうなると思いますか?」と問いかけると、子どもたちはそれぞれ元気いっぱい「爆発するー!」や「消えるー!」など答え、大盛り上がりでした。また当日は、100万円もするという機材で、リニアの仕



組みについても学びました。磁力で浮く石に子どもたちは興味津々でした。南信州おもしろ科学工房さんは自分ではなかなか手に入らない道具を使った実験だけでなく、親子で参加し家でも気軽に楽しめる工作体験のプログラムもあるようです。また、川路地区に来てもらいたいですね。



川路小学校創立150年記念式典

飯田市立川路小学校長 浅川 浩

川路小学校は、10月22日に、創立150年記念式典を体育館にてご来賓のご臨席を賜り挙行することができました。

昨年度より実行委員会を立ち上げ、記念事業を進めていただいた実行委員の皆様には、心から感謝いたします。体育館の緞帳の新調、昭和48年度の卒業生から、現在の在校生までを掲載した創立150年記念誌の刊行。自然に囲まれたこの川路小学校の美しい四季や「かわじ」の人文字の航空写真を入れたクリアファイルなど、皆様の心にも未永く残る記念事業を行っていただきました。子どもたちも、児童会を中心にスローガン「未来も川路に笑顔と絆」を定め、全校をあげてこの記念式典に向けて活動をしてきました。

こうして準備を整えて、天候にも恵まれ当日を迎えることができました。式典は、緞帳の披露から始まり、また、緞帳は、日本三大桑園の一つと言われ、養蚕



その後、学習発表では、まず6年生が、「川路のまち歩き」を通して発見した地域のよさや魅力を発表しました。出会った人たちに行ったインタビューでは、三六災の翌年に小学校へ入学した方に、そ



の盛んだったこの川路地区にちなみ、緑色にしました。テープカットを行い、緞帳が開き、全校児童で取り組んだ、

その後、学習発表では、まず6年生が、「川路のまち歩き」を通して発見した地域のよさや魅力を発表しました。出会った人たちに行ったインタビューでは、三六災の翌年に小学校へ入学した方に、そ

の当時の体験を覚えてもらったこと。歩いて調べたこと、分かったゴミの様子。歩いて気づいた川路の輝く景色の紹介などをしました。次に、川路小学校の卒業生である、ニッチローさんによるものまねパフォーマンス、そして子どもたちとのトークショーが行われました。代表の子どもたちの質問に答えてもらいました。そして「自分を大切にしたい、自分を大切にできる人は周りの人も大切にできる。うまくいかないことも、人のせいにするのではなく、自分を見つけてここをかせれば」というところに感謝を忘れずに、仲間



を大切にしてください。」と、子どもたちへのメッセージをいただきました。最後に、映像で川路小学校の150年の歴史を会場の皆で振り返り、式典は終了となりました。体育館では、学校の歴史を知る貴重な資料を展示した「ギャラリー展」も開催されました。川路学校開設当時やそれ以前の教科書、創設者関島退蔵氏の肖像画掛け軸、昭和初期の入学記念写真、6年生が作った蘭のコサージュ、学習発表で紹介した6年生の写真集などが展示されました。多くの方々に支えられ、創立150年記念式典ができましたことに心より感謝申し上げます。

未満児の保育園が出来た事

五区 鈴木 真理子



子ども達が安心して過ごせる川路に住み一年が過ぎました。お互い中学時代の同級生で久しぶりの同級会で会い結婚し2人の子どもに恵まれました。



住む家は完成に向けて進む中、新しく未満児の保育園が出来るとの事を教えてもらい、遠い保育園まで送り迎えをしなくても大丈夫かもと希望を持ってました。昨年4月から「まちづくり委員会」のおかげで「川路おむすび保育園」が出来て、わが家の息子2人子ども達には魅力が沢山、優しい大人が多く、子育てもしやすく素敵な環境だと思います。イベントや新しい場所も出ていて子どもを連れて行かせてもらっています。子ども達が集まる場所があるのでうれしいです。沢山の子ども達が川路で育つて良かったと思える環境を目指して!!周りの皆様に助けて頂きながら、この川路で多くの子ども達の成長を見届けていきたいです。

かわじさんぽ ~第7歩~



今回ご紹介するのは「川路駅周辺」です。遊具のある川路3号公園や様々なモニュメントがあり、言わずと知れた憩いのスポットとなっています。散歩する中で注目したいのが、「源実朝公歌碑」です。この歌碑は、川路3号公園の西側、28m道路沿いに建ちます。碑面には、「時によりすぐれば 民の嘆きなり 八竜王 雨やめたまへ」と刻

まれています。現代語訳は「恵みの雨も時によって降りすぎると民の嘆きとなります。八竜王よ、雨を止めてください。」八竜王とは、八体の龍神のことで、雨を司るとされます。この和歌には大雨による洪水で民を悲しませないで欲しいという実朝の切実な祈りが込められ、800余年過ぎた今なお詠み継がれています。



旧川路駅周辺は大量の水と土砂で廃墟と化し、住みなれた地を追いやられた人も多くいたそうです。その後、大規模な治水工事により、線路の付け替えや駅舎の新築移転がされ、川路駅そのものが三

小倉百人一首に選ばれるなど歌人として名高い実朝は、2022年大河ドラマ『鎌倉殿の13人』でおなじみ。鎌倉幕府第3代征夷大将軍に就任した後、朝廷の要職である右大臣に武士として初めて任じられるものの、暗殺により非業の死を遂げた悲劇の将軍としても知られます。そもそもこの歌碑が建立されたのは、昭和55年。昭和36年に起きた当時未曾有の水害「三六災」の20周年を前に、旧川路駅前前建設されました。その後、天竜川上流治水対策事業が完成した平成14年、現在の川路駅前に移転しています。三六災に見舞われた当時、

六災復興のシンボルの役割を果たしてきました。昨年三六災から60周年を迎え、川路駅周辺はますます進化を遂げています。辺りを歩いてみると、工業用地に数々の企業が立地して南信州の産業を支えていることがうかがえます。おしやれなカフエや多彩なレストランも点在し、老若男女が楽しめます。大河ドラマを通じて興味を持った源実朝公歌碑は、三六災の記憶を留めながら再生のために尽力した先人たちの祈りと努力の証し。ミハー心が想像以上に川路の歴史を知る機会をもたらす、今ある平穏な暮らしに感謝する気持ち湧き起こしてくれました。みなさんもぜひこの歌碑に注目しながら川路駅周辺を歩いてみてください。

菅前総理が、「2050年に日本のCO₂排出量をゼロにする。」と、どこかの会議で発言したことが、その後の日本のトレンドになって、脱炭素の流れが急速に進んだこととはご承知の通りです。さて関心のない方も、昨今の気候変動による大干ばつや大洪水が世界各地で起こり、その原因がCO₂の増加による地球温暖化だといわれれば、何とかならないものかと思ってしまうのではないのでしょうか。

市長と語る川路まちづくり懇談会

まちづくり委員会 副会長 平沢 玲子

9月2日「市長と語る川路まちづくり懇談会」が、川路公民館に佐藤市長はじめ市の部長の皆さんをお迎えして行われました。佐藤市長の挨拶では、5月22日に行われた「天竜川上流総合水防演習」のお礼と、その時に来場していた阿部知事に戸草ダムの早期着工をお願いしたとお話がありました。

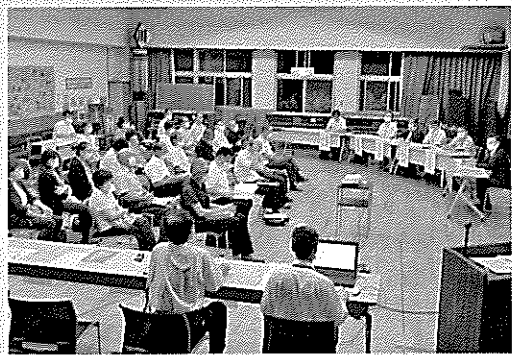
テーマ1の川路基本構想については、佐藤市長には川路居住意を高く評価していただき、他の地区でも素晴らしい憲章だと話をしていただいたことでした。また、観光については新しい視点で取り組み支援していくので、地元もぜひ積極的に参画してほしいとのことでした。農業に関しては川路農園はもつと広がると思いますのでシニア農業、家庭菜園と共に積極的に推進していただきたいとの見解でした。テ



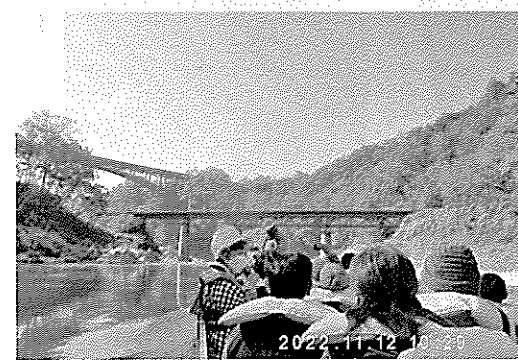
令和4年度 川路地区 市長と語るまちづくり懇談会

テーマ2のまちづくり委員会事務局設置については、やはりこの地区でも委員会事務局の継続については悩んでいるようで、役員の選出時期を早らすなどの工夫もあると提案されました。事務局の人員費については市からの財政支援は難しいため現在交付しているパワーアップ交付金の活用やふるさと納税で呼びかけてみてはどうかと提案をいただきました。地域おこし協力隊は中山間地ではない川路でも可能性はあるので良い提案をいただければ一緒に考えていきたいとの事でした。テーマ3の天竜川河床の変化については、天竜川上流河川事務所と同じ方向を向いているので河床を下げて水害を防ぐことは連携して進めていきたい。まずは阿知川との合流地点の掘

削が大事であるとの見解でした。テーマ4の公民館建て替えについては残念ながら現時点では難しく、駐車場の問題だけでは新築はできず基本は改築になるとのことでした。出席者の皆さんからも多くの質問、意見をいただき、飯田市幹部の皆さんと有意義な懇談会を持つことができました。天竜川河床の変化、川路公民館建て替えについて等、川路の課題については今回の懇談会だけではなく、継続して佐藤市長及び市の幹部に訴えていくことが大事だと思います。今回はコロナ禍のため人数を絞った懇談会となりましたが、来年度はぜひ多くの方が参加して活発な意見交換ができることを願います。



1マ2のまちづくり委員会事務局設置については、やはりこの地区でも委員会事務局の継続については悩んでいるようで、役員の選出時期を早らすなどの工夫もあると提案されました。事務局の人員費については市からの財政支援は難しいため現在交付しているパワーアップ交付金の活用やふるさと納税で呼びかけてみてはどうかと提案をいただきました。地域おこし協力隊は中山間地ではない川路でも可能性はあるので良い提案をいただければ一緒に考えていきたいとの事でした。テーマ3の天竜川河床の変化については、天竜川上流河川事務所と同じ方向を向いているので河床を下げて水害を防ぐことは連携して進めていきたい。まずは阿知川との合流地点の掘

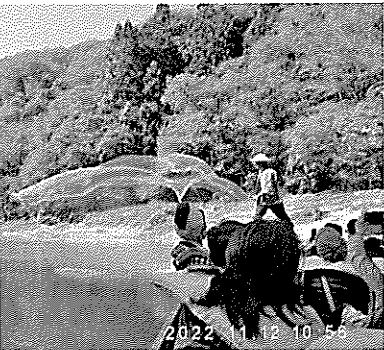


2022.11.12

天竜川舟下り
舟下りって知っているけど乗った事ない。
天龍峡十勝
知っているけど話せない。
そんな私が参加しました。
このイベントは、『天龍ライン遊船術』と『まちづくり委員会』で企画され『飯田市商業観光課』の協力で実施されたツアーでした。
第1回・6月18日、第2回・9月10日、第3回・11月12日の計3回共、あつという間に予約で定員30名になったとの事。
観光気分に参加しましたが、

好天気
朝の集合時には霧がでており、心配しましたが、船に乗る頃には晴天！紅葉は少し早く、1週間後が見頃とガイドさんの説明、来週も如何？との誘いもありました。
船上からの絶景
天竜川の水量はダムの放流があり、予想より多く、流れも速かったです。何より、船上からしか見ることが出来ない景色を堪能できました。

内容は、アカデミックでした。出発前には、21ページに及ぶ資料『船で巡る天龍峡十勝』が配布されました。そして、中島良彦副会長から名勝『天龍峡』の歴史と天龍峡十勝とは・との講義がありました。
8区 小林 好雄

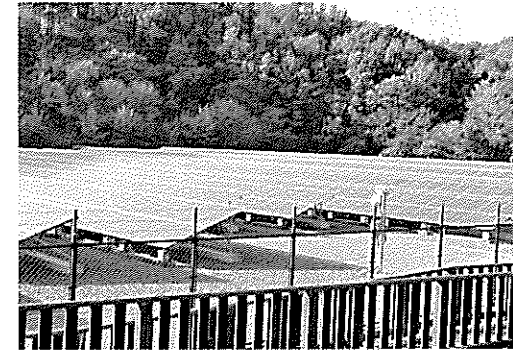


2022.11.10

脱炭素先行地域 私たちのできることは

まちづくり委員会 会長 今村 正大

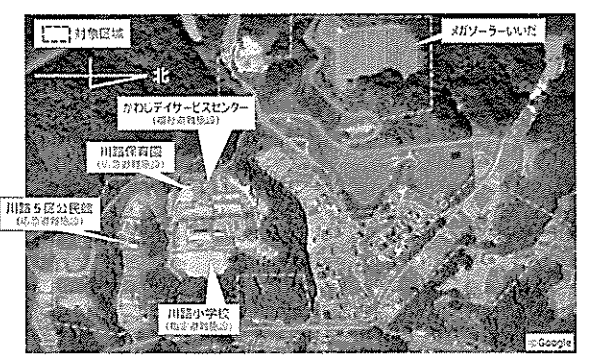
菅前総理が、「2050年に日本のCO₂排出量をゼロにする。」と、どこかの会議で発言したことが、その後の日本のトレンドになって、脱炭素の流れが急速に進んだこととはご承知の通りです。さて関心のない方も、昨今の気候変動による大干ばつや大洪水が世界各地で起こり、その原因がCO₂の増加による地球温暖化だといわれれば、何とかならないものかと思ってしまうのではないのでしょうか。



この決定が私たちの生活にどんな影響を与えるのでしょうか。臨時役員会でも議論になったところですが、明らかになっているいくつかをお示しします。例えば、家の屋根にソーラーを載せる場合、或いは蓄電池を設置したいという場合は、国から大きな補助が受けられるようになります。また、電気の需要が逼迫する時間帯に節電に協力すれば、その分ポイントが得られる仕組みも動き始める予定です。クリーンといわれる電気も元を辿れば、化石燃料を使って発電しています。そこで元を辿ってもクリーンな電気に変更することもできるのだそうです。今持っている服を長く使うとか、原料が石油のプラスチックゴミの分別など普段

ほしいと、まちづくり委員会に相談がありました。メガソーラーを利用したマイクログリッド事業が始まっており、住民の関心も高い川路を選択したということでした。考えてみますと、脱炭素・CO₂削減は、今後私たちが生活する上で大きな課題となり、必ず通らなければならぬ道となります。まちづくり委員会では区長会と役員会に諮り、改めて市の担当者に臨時役員会で説明してもらい立候補を

了承したのです。そして、11月1日「脱炭素先行地域」の決定通知を受けました。それによると、川路地区内の脱炭素化を進めるとともに、飯田市内全部の小中学校で環境教育を行い、脱炭素社会の担い手を育てるとしています。長野県では松本市に次いで2例目、全国では56の自治体などが指定を受けたことになりました。



川路地区の施設地図

行っていることも、徹底することによって脱炭素の事業に参加することになるのです。今回の事業は、電気を中心にしてCO₂削減を進めるもので、全国目標より20年先行して2030年度の脱炭素化を目指します。今後の事業の進め方については、市のゼロカーボンシティ推進課と話し合っ進めていくこととなりますが、本格的に動き出すのは来年2023年からの予定です。新しい基本構想にも、この「脱炭素先行地域」指定を受けた取組を盛り込みました。10年後、川路がどんな地域になっているか、期待は大きく膨らみます。

川路ACC 大活躍!

12月4日(日)、今田平農村広場を拠点に、第30回龍江絆伝が開催されました。この大会はもとも龍江地区内の行事「龍江一周伝」としてスタートし、現在でも絆伝として続いている歴史ある大会だそうです。今回の大会には合計16チームが参加し、川路ACCからは小学生チーム2チーム、一般の部1チームの合計3チーム18名が選手として参加し、大会を盛り上げました。参加した全てのチームが無事完走し、一般の部では川路ACCが見事優勝！当日は、川路ACCのメンバー、家族が集まりチームが一つになって白熱した時間を過ごしました。



文化祭の様子

寿おやじバンド

「昭和歌謡の発表」
子どもたちと一緒に
盛り上がりました。



文化祭芸能発表会

竜峡中学校吹奏楽部

「吹奏楽の発表」

2年生と1年生の新体制での初めての発表でした。
短い時間でしたが楽しんでいただけたでしょうか。



文化祭芸能発表

川路小学校3年生 (川路サンサン3年生)人形劇

「がんばれ!!オタマジャクシ!!」

コロナ禍で発表の場がもてずにいたので、今日こうして発表
できることがとてもうれしかったです。全員で力を合わせ手
作り人形劇を頑張りました。



マジック同好会

声援に励まされ楽しみながらマジックを
しています。ご一緒しませんか?



展示発表



ハーラウ フラオ ラウレア

文化祭芸能発表会



「フラダンス」

華やかなドレスを身につけ、にこにこ笑顔で若々しく。



天龍峡篠笛愛好会

「篠笛演奏」
童謡・唱歌を中心に幅広く演奏
しました。